

# 1 単元名 面積

## 2 単元について

児童は、第1学年・第2学年の時に色板並べや図形の敷きつめ等の具体物の操作を通して、広さの概念の素地を養う学習を積んできている。また、量の概念としては、長さ、液量、時間、重さについて、直接比較、間接比較、任意単位、普遍単位の段階を経て、測定の仕方を学習してきた。本単元では、これまでの学習をふまえて、面積の概念、長方形や正方形の面積を求める公式の意味の理解、面積を表す各種の単位の理解について学習を進める。基本単位の必要性、有用性を認識させながら、面積の普遍単位「 $\text{cm}^2$ 」の理解と、これより大きい「 $\text{m}^2$ 、 $\text{km}^2$ 」の単位とそれらの相互関係の理解を図る。

児童は、広さについては漠然とした感覚で広い、狭いを判断している。今まで、「長さ」や「かさ」、「質量」といった学習では、様々な測定を経験しているが、普遍単位の重要性まで十分認識しているとはいえない。面積の単位について知っている児童はなく、陣取りゲーム等を通して広さ比べをした経験もない。面積については、周りの長さで決まると思っている児童が多い。

7人と少人数の学級であるため、多様な考え方が出にくい傾向にある。自力解決したことは、進んで発表しようとする事ができるが、相手の立場に立って分かりやすく説明することは十分できているとはいえない。

広さ比べを通しての面積の学習では、直接比較、間接比較、任意単位による比較、普遍単位による比較の4つの段階を丁寧に扱いたい。

本時では、自力解決の場面で、進んで他の方法にも挑戦し、自らが多様な考えが出るよう時間を十分とりたい。友達との意見交流では、その方法のよさや考え方の共通点を話し合わせながら既習の長方形や正方形に分割等を行うことによって公式を用いて面積を求めることに気づかせたい。子どもたちから補充引き去りの方法が出てこない場合は、教師から方法を提示するのではなく、その必要性が感じられる問題において考えさせるように本時の学習指導案をA案、B案と2種類用意した。

## 3 単元の目標

面積について単位や測定の意味を知り、長方形、正方形の面積を求める公式を作り出す。

長方形、正方形の面積の公式を用いて、長方形や正方形、複合図形の面積を求める。

面積の単位「 $\text{cm}^2$ 、 $\text{m}^2$ 、 $\text{km}^2$ 」を知り、それらの関係を調べる。

求積活動を通して、面積の感覚を豊かにする。

## 4 学習指導計画（全8時間）

次	学習内容	評価の観点	時間
1	<b>課題設定</b> 学習計画 <b>面積</b> 広さの単位「 $\text{cm}^2$ 」を知る。 正方形・長方形の面積の公式を知る。 公式を利用する。	広さの表し方について関心をもつ。  面積の意味を知り、普遍単位を用いて長方形や正方形の面積を求めることができる。	4時間
2	<b>大きな面積</b> 広さの単位「 $\text{m}^2$ 」を知る。 $1\text{m}^2$ と $1\text{cm}^2$ の関係を調べる。 面積の単位 $1\text{km}^2$ と $\text{m}^2$ の関係を調べる。	$1\text{m}^2$ や $1\text{km}^2$ のような大きな面積について理解する。	3時間
3	<b>面積の求め方のくふう</b> 面積のいろいろな求め方を考える。 <b>算数のまど</b>	L字型の面積を分割などによって求めることができる。	1時間 (本時) 1時間